

2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年1月29日

上場会社名 東海エレクトロニクス株式会社
 コード番号 8071 URL <https://www.tokai-ele.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 慎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部本部長 (氏名) 谷 徹雄
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 TEL 052-261-3211

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期第3四半期 | 29,995 | 27.7 | 976 | 56.0 | 1,068 | 50.9 | 660 | 70.5 |
| 2025年3月期第3四半期 | 41,471 | 10.9 | 626 | 51.6 | 707 | 47.1 | 387 | 54.2 |

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,596百万円 (122.8%) 2025年3月期第3四半期 716百万円 (42.0%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年3月期第3四半期 | 312.39 | 304.19 |
| 2025年3月期第3四半期 | 183.47 | 178.97 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年3月期第3四半期 | 30,130 | 18,865 | 62.2 |
| 2025年3月期 | 29,056 | 17,496 | 59.8 |

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 18,745百万円 2025年3月期 17,383百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期 | | 57.00 | | 57.00 | 114.00 |
| 2026年3月期 | | 57.00 | | | |
| 2026年3月期(予想) | | | | 57.00 | 114.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 40,000 | 29.8 | 750 | 31.8 | 800 | 27.1 | 520 | 19.0 | 245.85 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 東海オートマチックス株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|--------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2026年3月期3Q | 2,360,263 株 | 2025年3月期 | 2,360,263 株 |
| 期末自己株式数 | 2026年3月期3Q | 245,123 株 | 2025年3月期 | 248,468 株 |
| 期中平均株式数 (四半期累計) | 2026年3月期3Q | 2,115,126 株 | 2025年3月期3Q | 2,111,843 株 |

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 10 |
| (企業結合等関係) | 10 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響に加え、米国の通商政策などの影響による世界経済の不確実性により、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

このような経済環境のもと、当社グループは2023年度からの3カ年計画である中期経営計画「Move for Future 2025:MF25」の最終年度を迎え、MF25のテーマである「1. 実行力!ミライの価値づくりに、さあ動き出そう～想いや経験を共有し、みんなで未来へ進もう～」、「2. 安心・安全な社会、緑豊かな環境を創ろう～エレクトロニクスのチカラでより良い社会を創ろう～」の方針に沿って、自動車、医療、環境・エネルギー、IoT・FA、ソフトウェアなどの各市場分野に対して、お客様視点に立ったソリューション提案を進めています。

その主な取り組みとして、橋梁など社会インフラの老朽化や故障などの社会課題に対して、IoTを活用したシステム提案による未然防止などの解決に取り組んでいます。また、当社の海外拠点のネットワークを活かし、欧州のセンサーメーカーと協力関係を強化して最新技術を利用したセンサーを日本、中国、米国、東南アジアなど様々な地域のお客様に提案してビジネス拡大に取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間の主な市場分野別の業績については、自動車分野においては、東南アジア圏では欧州半導体メーカーとの取引が増加し半導体デバイスの販売が増加したことから前年同期を上回りました。一方で国内・中華圏・欧米圏においては、主要取引先であったルネサスエレクトロニクス株式会社製品の取り扱いが終了したことから半導体デバイスの販売が減少し、自動車分野全体では前年同期を下回る結果となりました。FA・工作機械分野においては、中華圏でAI向け電子デバイスの販売が増加したことに加え、国内でも半導体製造装置向けや自動車関連設備向け電子デバイスの販売が増加したことなどから、国内外ともに前年同期を上回る結果となりました。情報通信分野においては、国内は映像機器向け電子デバイスの販売が増加しましたが、東南アジア圏でデータセンター向けやOA機器向け電子デバイスなどの販売が減少したことなどから、情報通信分野全体では前年同期を下回る結果となりました。

市場分野別の売上につきましては次のとおりであります。

(単位：千円)

| 市場分野別 | 前第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日) | 構成比(%) | 当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日) | 構成比(%) | 前年同期比(%) |
|-------------|--|--------|--|--------|----------|
| 自動車 | 29,631,019 | 71.4 | 16,755,710 | 55.9 | △43.5 |
| FA・ 工作機械 | 4,222,649 | 10.2 | 4,836,444 | 16.1 | 14.5 |
| 情報通信 | 4,296,894 | 10.4 | 3,827,992 | 12.8 | △10.9 |
| 医療 | 702,002 | 1.7 | 896,792 | 3.0 | 27.7 |
| 環境 | 668,714 | 1.6 | 784,261 | 2.6 | 17.3 |
| その他 | 1,949,756 | 4.7 | 2,894,447 | 9.6 | 48.5 |
| 合計 | 41,471,036 | 100.0 | 29,995,649 | 100.0 | △27.7 |

上記の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は299億9千5百万円(前年同期比27.7%減)、営業利益9億7千6百万円(前年同期比56.0%増)、経常利益10億6千8百万円(前年同期比50.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億6千万円(前年同期比70.5%増)となりました。利益面の増加については、利益率の高い商品の販売が進んだことに加え、各種経費削減に取り組んだことによります。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

なお、2025年度より報告セグメントの変更を行っており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいております。詳細は、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)II 当第3四半期連結累計期間の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

○関東・甲信越カンパニー

FA・工作機械分野においては、販路拡大により制御ユニット用電子デバイスの販売や開発受託案件、評価ビジネスは増加しましたが、中国向け需要の低迷が継続しており同分野での販売は減少しました。また、自動車分野においても、電気自動車の販売低迷により電子デバイスや高機能材料の販売が減少したことなどから、売上高は27億8千7百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

○中部・関西第1カンパニー

F A・工作機械分野においては、中国の設備投資は依然低調であるものの、国内の半導体製造装置向けや自動車関連設備向け電子デバイスの販売は堅調に推移しました。また、医療分野においても、医療機関向けの電子機器の販売が増加したことなどから、売上高は59億9千1百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

○中部・関西第2カンパニー

自動車分野においては、省エネルギーを目的とした電子デバイスの販売は増加しましたが、主要取引先であったルネサス エレクトロニクス株式会社との特約店契約解消により同社の製品販売が2025年3月をもって終了となったことなどから同分野での販売は減少しました。また、中国市場での自動車の販売不振などの影響もあり、売上高は91億9千万円（前年同期比55.2%減）となりました。

○オーバーシーズ・ソリューションカンパニー

F A・工作機械分野においては、中華圏でA I向け特需があり電子デバイスの販売が増加しました。一方で情報通信分野においては、東南アジア圏でのデータセンター向けにお客様の在庫調整により電子デバイスの販売が減少しました。また自動車分野においては、東南アジア圏では車載エアコン向け半導体デバイスの販売が堅調に推移しましたが、ルネサス エレクトロニクス株式会社との特約店契約解消に伴い、中華圏・欧米圏では半導体デバイスの販売が減少したことなどから、売上高は104億4千2百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

○システム・ソリューションカンパニー

航空宇宙分野においては、防衛関連向け新規試験装置での受注が増加しました。また、建築事業分野においても、オフィスビルや工場等の新規設備工事の受注が増加したことなどから、売上高は15億8千4百万円（前年同期比126.7%増）となりました。

セグメント別の売上に つきましては次のとおりであります。

(単位：千円)

| セグメント別 | 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) | 構成比(%) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日) | 構成比(%) | 前年同期比(%) |
|------------------------------|--|--------|--|--------|----------|
| 関東・甲信越 カンパニー | 2,993,619 | 7.2 | 2,787,547 | 9.3 | △6.9 |
| 中部・関西 第1カンパニー | 5,480,247 | 13.2 | 5,991,362 | 20.0 | 9.3 |
| 中部・関西 第2カンパニー | 20,534,920 | 49.5 | 9,190,147 | 30.6 | △55.2 |
| オーバーシーズ・ ソリューション カンパニー | 11,763,590 | 28.4 | 10,442,502 | 34.8 | △11.2 |
| システム・ ソリューション カンパニー | 698,659 | 1.7 | 1,584,088 | 5.3 | 126.7 |
| 合計 | 41,471,036 | 100.0 | 29,995,649 | 100.0 | △27.7 |

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産・負債・純資産の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は301億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ10億7千4百万円の増加となりました。主な要因は、売上債権等が10億3千万円、棚卸資産が40億2千6百万円減少しましたが、現金及び預金が57億9千3百万円、投資有価証券が5億1百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は112億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億9千3百万円の減少となりました。主な要因は、仕入債務が3億9千5百万円、未払消費税等などの増加により流動負債のその他が2億9千1百万円増加しましたが、短期借入金金が11億5千万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は188億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億6千8百万円の増加となりました。主な要因は、配当金2億4千万円の支払いがありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益6億6千万円の計上があったことから利益剰余金が4億1千9百万円増加したことに加え、その他有価証券評価差額金が3億3千9百万円、為替換算調整勘定が5億9千5百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、当社グループで保有していた補給在庫の販売などにより、一時的に収益率が向上しました。しかし、通期業績予想については、世界情勢や市況動向の影響が不確実なため、2025年10月23日に公表いたしました通期の業績予想から変更しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,254,189 | 9,047,421 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 9,587,920 | 7,288,966 |
| 電子記録債権 | 1,576,895 | 2,845,344 |
| 棚卸資産 | 8,741,466 | 4,715,395 |
| その他 | 339,451 | 301,843 |
| 流動資産合計 | 23,499,924 | 24,198,971 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 1,902,985 | 1,902,985 |
| その他(純額) | 596,118 | 599,674 |
| 有形固定資産合計 | 2,499,103 | 2,502,659 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 46,193 | 35,571 |
| 投資有価証券 | 1,867,403 | 2,368,413 |
| その他 | 1,143,465 | 1,025,369 |
| 投資その他の資産合計 | 3,010,868 | 3,393,782 |
| 固定資産合計 | 5,556,166 | 5,932,013 |
| 資産合計 | 29,056,090 | 30,130,984 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,081,855 | 4,258,766 |
| 電子記録債務 | 1,334,907 | 1,553,634 |
| 短期借入金 | 1,150,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 3,000,000 |
| 未払法人税等 | 101,248 | 211,439 |
| 賞与引当金 | 227,816 | 148,020 |
| 役員賞与引当金 | 184,036 | 90,622 |
| その他 | 599,485 | 890,864 |
| 流動負債合計 | 7,679,349 | 10,153,347 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,000,000 | — |
| 退職給付に係る負債 | 419,569 | 381,100 |
| その他 | 460,855 | 731,464 |
| 固定負債合計 | 3,880,424 | 1,112,564 |
| 負債合計 | 11,559,774 | 11,265,912 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,075,396 | 3,075,396 |
| 資本剰余金 | 2,511,066 | 2,511,078 |
| 利益剰余金 | 10,988,930 | 11,408,747 |
| 自己株式 | △517,337 | △510,411 |
| 株主資本合計 | 16,058,055 | 16,484,809 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 939,259 | 1,278,695 |
| 土地再評価差額金 | △662,775 | △662,775 |
| 為替換算調整勘定 | 1,048,823 | 1,644,734 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,325,307 | 2,260,655 |
| 新株予約権 | 112,952 | 119,607 |
| 純資産合計 | 17,496,316 | 18,865,072 |
| 負債純資産合計 | 29,056,090 | 30,130,984 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 41,471,036 | 29,995,649 |
| 売上原価 | 36,745,184 | 24,984,817 |
| 売上総利益 | 4,725,852 | 5,010,832 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,099,816 | 4,033,996 |
| 営業利益 | 626,035 | 976,835 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 33,957 | 40,934 |
| 受取配当金 | 41,026 | 51,978 |
| 仕入割引 | 3,051 | 3,687 |
| 為替差益 | 27,514 | — |
| 不動産賃貸料 | 22,731 | 22,199 |
| 投資有価証券売却益 | — | 21,661 |
| その他 | 11,217 | 6,806 |
| 営業外収益合計 | 139,499 | 147,267 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34,641 | 28,471 |
| 売上債権売却損 | 14,566 | — |
| 為替差損 | — | 19,192 |
| 不動産賃貸原価 | 8,544 | 8,298 |
| その他 | 5 | 12 |
| 営業外費用合計 | 57,758 | 55,975 |
| 経常利益 | 707,777 | 1,068,126 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 10,287 |
| 特別損失合計 | — | 10,287 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 707,777 | 1,057,839 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 152,476 | 280,020 |
| 法人税等調整額 | 167,839 | 117,066 |
| 法人税等合計 | 320,316 | 397,087 |
| 四半期純利益 | 387,461 | 660,752 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 387,461 | 660,752 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 387,461 | 660,752 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 86,968 | 339,436 |
| 為替換算調整勘定 | 241,795 | 595,910 |
| その他の包括利益合計 | 328,763 | 935,347 |
| 四半期包括利益 | 716,225 | 1,596,099 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 716,225 | 1,596,099 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 計 |
|-----------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------------------|---------------------------|------------|
| | 関東・甲信越 カンパニー | 中部・関西第1 カンパニー | 中部・関西第2 カンパニー | オーバーシーズ・ ソリューション カンパニー | システム・ ソリューション カンパニー | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,993,619 | 5,480,247 | 20,534,920 | 11,763,590 | 698,659 | 41,471,036 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 771,858 | 505,428 | 454,976 | 1,783,375 | 32,904 | 3,548,542 |
| 計 | 3,765,477 | 5,985,675 | 20,989,897 | 13,546,965 | 731,563 | 45,019,579 |
| セグメント利益 | 155,195 | 199,976 | 617,890 | 123,693 | 67,256 | 1,164,012 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,164,012 |
| セグメント間取引消去 | 19,689 |
| 全社費用(注) | △557,665 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 626,035 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 計 |
|-----------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------------------|---------------------------|------------|
| | 関東・甲信越 カンパニー | 中部・関西第1 カンパニー | 中部・関西第2 カンパニー | オーバーシーズ・ ソリューション カンパニー | システム・ ソリューション カンパニー | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,787,547 | 5,991,362 | 9,190,147 | 10,442,502 | 1,584,088 | 29,995,649 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 664,097 | 606,206 | 345,062 | 2,468,255 | 34,572 | 4,118,194 |
| 計 | 3,451,645 | 6,597,569 | 9,535,209 | 12,910,758 | 1,618,661 | 34,113,844 |
| セグメント利益 | 67,867 | 190,682 | 633,882 | 100,103 | 524,232 | 1,516,768 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,516,768 |
| セグメント間取引消去 | 2,265 |
| 全社費用(注) | △542,199 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 976,835 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

2025年4月1日より、当社グループは、未来の価値創造に向けた戦略的な取り組みを推進するため、自動車分野への取り組みが中心であった中部・関西第2カンパニーと中部・関西第3カンパニーを統合し、新たな中部・関西第2カンパニーとする体制としました。これにより、報告セグメントの区分を従来の「関東・甲信越カンパニー」、「中部・関西第1カンパニー」、「中部・関西第2カンパニー」、「中部・関西第3カンパニー」、「オーバーシーズ・ソリューションカンパニー」、「システム・ソリューションカンパニー」の6セグメントから、「関東・甲信越カンパニー」、「中部・関西第1カンパニー」、「中部・関西第2カンパニー」、「オーバーシーズ・ソリューションカンパニー」、「システム・ソリューションカンパニー」の5セグメントに改編しております。

また、更なる業務品質の向上や営業力の強化を図るため、2025年4月1日付で、当社を吸収合併存続会社、当社の連結子会社である東海オートマチック株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行っております。この吸収合併により、従来、セグメント「システム・ソリューションカンパニー」に含めていた東海オートマチック株式会社が行っていた事業は、当社の事業に承継されているため、当第3四半期連結累計期間より当該事業部分を「中部・関西第1カンパニー」に含めてセグメント情報を作成しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 144,839千円 | 201,745千円 |

(企業結合等関係)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2025年1月30日開催の取締役会決議に基づき、2025年4月1日を効力発生日として、当社100%出資の連結子会社であった東海オートマチックス株式会社を吸収合併いたしました。

合併の概要は以下のとおりであります。

1 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

(存続会社)

| | |
|-------|---|
| 名称 | 東海エレクトロニクス株式会社 |
| 事業の内容 | 1. 社会インフラ向けシステムの開発と販売 2. 電子デバイス、半導体デバイス、高機能材料の開発と販売 3. ソフトウェア、組込モジュールの開発と販売 |

(消滅会社)

| | |
|-------|---------------------|
| 名称 | 東海オートマチックス株式会社 |
| 事業の内容 | アセンブリ製品、コンポーネント製品販売 |

(2) 企業結合日 2025年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式とし、東海オートマチックス株式会社は解散いたしました。

(4) 結合後企業の名称 東海エレクトロニクス株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

当社は、更なる業務品質の向上や経営の効率化を図るため、当社の100%連結子会社であった東海オートマチックス株式会社を吸収合併いたしました。

2 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。